

汚染水対策スケジュール (1/2)

分野名	活り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	12月				1月				2月				3月	4月	備考
			27	3	10	17	24	31	6	下	上	中	下	期			
中長期課題	建屋滞留水処理	<p>【1~4号機 滞留水移送装置】 【3号機 原子炉建屋滞留水移送装置設置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転 ・3号機 原子炉建屋滞留水移送装置A系運転</p> <p>(予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転 ・3号機 原子炉建屋滞留水移送装置A系運転 ・3号機 原子炉建屋滞留水移送装置B系設置</p>	現場作業	<p>【1~4号機】滞留水移送装置設置 運転</p> <p>【3号機】原子炉建屋滞留水移送装置設置</p> <p>B系統運用開始▽</p>												<p>2020年10月12日 3号機原子炉建屋滞留水移送ポンプ設置の実施計画変更認可(原規規発第20101210号)</p> <p>2020年12月15日 3号機原子炉建屋滞留水移送装置一部使用承認書受領(原規規発第2012152号)</p> <p>2020年12月21日A系運用開始</p>	
	浄化設備	<p>【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転</p> <p>(予定) ・処理運転</p>	現場作業	<p>処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)</p>												<p>処理水及びタンクのインサースビス状況に応じて適宜運転または処理停止</p>	
	浄化設備	<p>【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転</p>	現場作業	<p>処理運転</p>												<p>サブドレン汲み上げ、運用開始(2015.9.3~) 排水開始(2015.9.14~) 前処理フィルタ補修完了(7/14~8/6) 2020年4月27日 サブドレン他浄化設備pH緩衝塔(A系)使用前検査終了証受領(原規規発第20042710号) 2020年10月20日 pH緩衝塔(A系)運用開始</p> <p>2020年12月10日 サブドレン他浄化設備pH緩衝塔(B系)使用前検査終了証受領(原規規発第2012109号)</p>	
	浄化設備	<p>【5/6号機サブドレンの復旧】 (実績) サブドレン設備復旧工事着手(9/7~)</p>	現場作業	<p>運転開始予定(2021年度末)</p>													
	浄化設備	<p>【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転</p>	現場作業	<p>処理運転</p>												<p>2017年7月28日 除染装置関連設備撤去の実施計画変更認可(原規規発第1707283号) 2017年9月28日 第三セシウム吸着装置設置の実施計画変更認可(原規規発第1709285号)</p> <p>第三セシウム吸着装置設置コールド試験完了(H30.7月) 2019年1月28日 第三セシウム吸着装置使用前検査完了証受領(原規規発第1901286号) 2019年7月12日運用開始</p>	
陸側遮水壁	<p>(実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了</p>	現場作業	<p>維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)</p>												<p>2016年3月30日 陸側遮水壁の閉合について実施計画変更認可(原規規発第1603303号) 2016年12月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可(原規規発第1612024号) 2017年3月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可(未凍結箇所4箇所の閉合:原規規発第1703023号) 2017年8月15日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可(未凍結箇所1箇所の閉合:原規規発第1708151号)</p>		
H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	<p>(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握</p>	現場作業	<p>モニタリング</p>														

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野名	活り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	12月					1月					2月					3月		4月		備考			
			27	3	10	17	24	31	6	13	20	27	3	10	17	24	31	上	中	下	前		後		
汚染水対策分野	中長期課題	処理水受タンク増設	設計検討 (実績・予定) ・追加設置検討(タンク配置) ・G4南エリア溶接タンク基礎・堰設置工事 ・Eエリアフランジタンク解体工事 ・G1エリア溶接タンク基礎・堰設置工事 ・H9・H9西エリアフランジタンク解体工事	→																					
				G4南エリア溶接タンク基礎・堰設置工事																				使用前最終検査 ▽	2018年7月5日 G4南エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可
				Eエリアフランジタンク解体工事																					2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可
				G1エリア溶接タンク基礎・堰設置工事																				使用前最終検査 ▽	2017年10月17日 G1エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可
				H9・H9西エリアフランジタンク解体工事																					2020年7月8日 H9・H9西エリアにおける中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可
	津波対策	現場作業	○千島海溝津波対策 ・防潮堤設置 (実績) 既設設備撤去・移設、造成嵩上げ、L型擁壁設置、ボックスカルバート設置、重力式擁壁設置 全長約600m施工完了(9月25日完了) (予定) 雨水排水設備設置、舗装作業、補強工事	▼L型擁壁等据付完了(9月25日)																					
				付帯設備等工事																				▼舗装工事等完了	工事開始(2019年7月29日) L型擁壁の据え付け開始(2019年9月23日) 防潮堤設置2020年9月25日完了 内閣府公表内容に対して、千島海溝防潮堤の補強、日本海溝津波防潮堤の新設を公表(2020年9月14日)
				補強工事																					
	現場作業	○3.11津波対策 ・建屋開口部閉止 (実績) 閉止箇所数 113箇所/127箇所(1月28日時点) (予定) 外部開口閉塞作業 継続実施	【区分⑤】 1~4Rw/B、4R/B、4T/B扉等																					【区分①②】 1~3T/B等2019年3月、全67箇所完了 【区分③】 2、3R/B外部のハッチ等 (2019年3月~2020年3月、全20箇所完了) 【区分④】 1~3R/B扉等 (2019年9月~2020年11月、全16箇所完了) 【区分⑤】 1~4Rw/B、4R/B、4T/B (2020年3月~2022年3月、10箇所/24箇所完了)	
			護岸工事																					蓄底マウンド造成：2019年5月20日開始、2020年2月7日完了 ハラスト水処理：2019年5月28日開始、2020年2月20日完了 内部除染：2019年7月16日開始、2020年2月26日完了 メガフロート移設・仮蓄底：2020年3月4日完了 内部充填：2020年4月3日開始、8月3日完了 護岸ブロック据付：2020年10月2日開始	
	現場作業	○3.11津波対策 ・メガフロート移設【1/20時点】 (実績) 蓄底マウンド造成:100%、ハラスト水処理:100%、 内部除染作業:100% メガフロート移設・仮蓄底:100% 内部充填作業:100% 護岸ブロック製造:100% 据付:80%(266基/333基) (予定) 港湾ヤード整備	→																						
護岸工事																									

水処理設備の運転状況、運転計画
(2021年1月29日～2021年2月11日)

2021年2月5日
東京電力ホールディングス株式会社

多核種除去設備

	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)
A	停止													
B	←→		停止	←→						停止	←→			
C	←→		停止			←→								

増設多核種除去設備

	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)
A	停止													
B	停止													
C	停止													

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)
SARRY	停止			←→					停止					
SARRY2	←→							停止			←→			
KURION	停止(滞留水の状況に応じて運転を計画, 実施)													

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について
(2021年1月29日～2021年2月4日)

2021年2月5日
東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			ポンプエリア	南東エリア												
1月29日	-2035	-2103	-2082	-2072	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-471	252	2698
1月30日	-2051	-2082	-2091	-2189	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-427	176	2698
1月31日	-2046	-2091	-2099	-2067	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-426	107	2698
2月1日	-2036	-2121	-2094	-2263	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-424	21	2698
2月2日	-2052	-2100	-2098	-2117	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-421	28	2698
2月3日	-2034	-2121	-2099	-2273	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-526	46	2698
2月4日	-2055	-2117	-2103	-2159	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-665	0	2698
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796		-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	-

備考欄

- ※ T.P.表記(単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)
- ※ サイトバンカ建屋水位は、流入量調査のため一時的に水位計の測定下限値以下まで水位低下(2019年4月16日～)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 3号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 3号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

最終更新：2020/2/8
東京電力ホールディングス株式会社

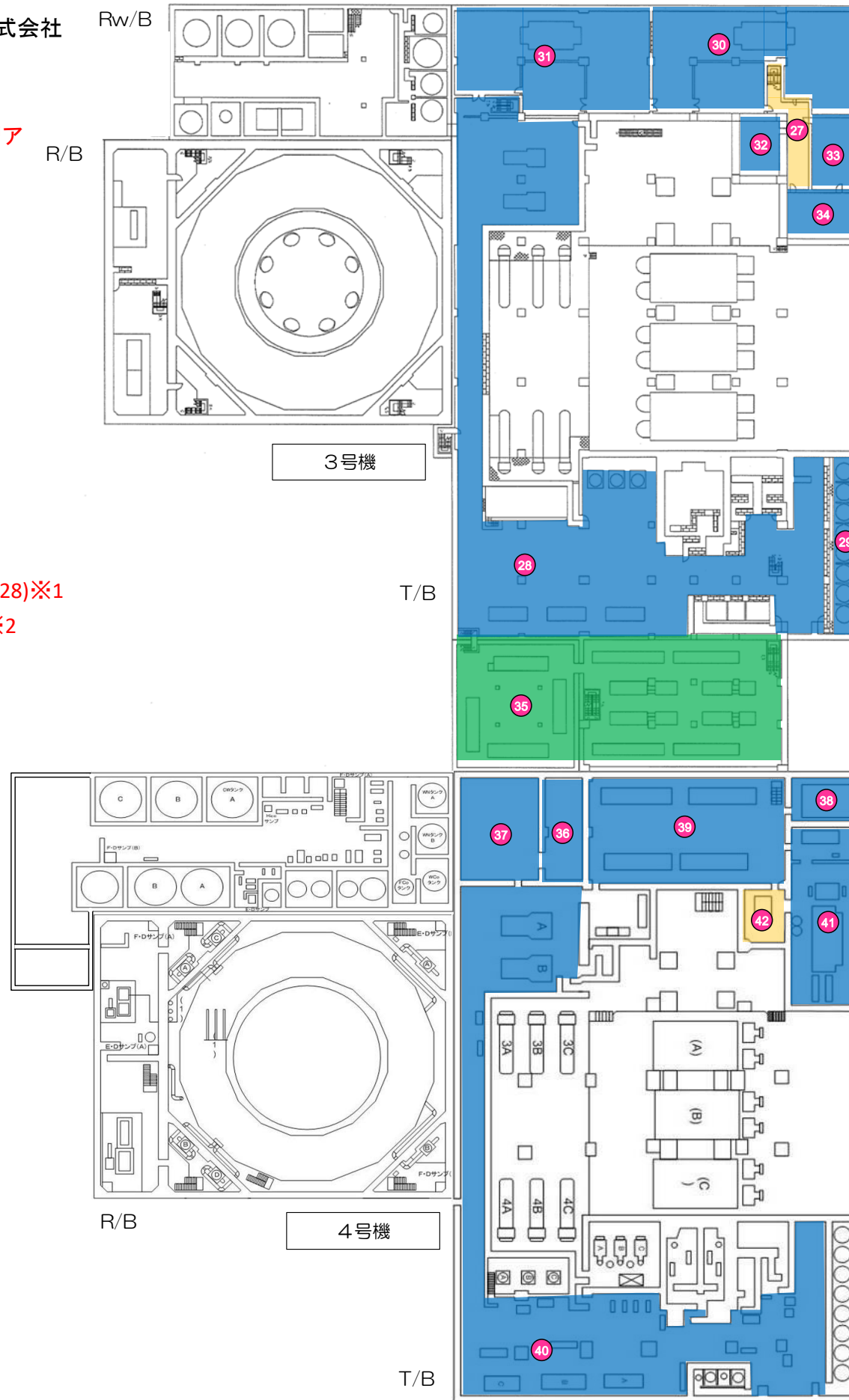
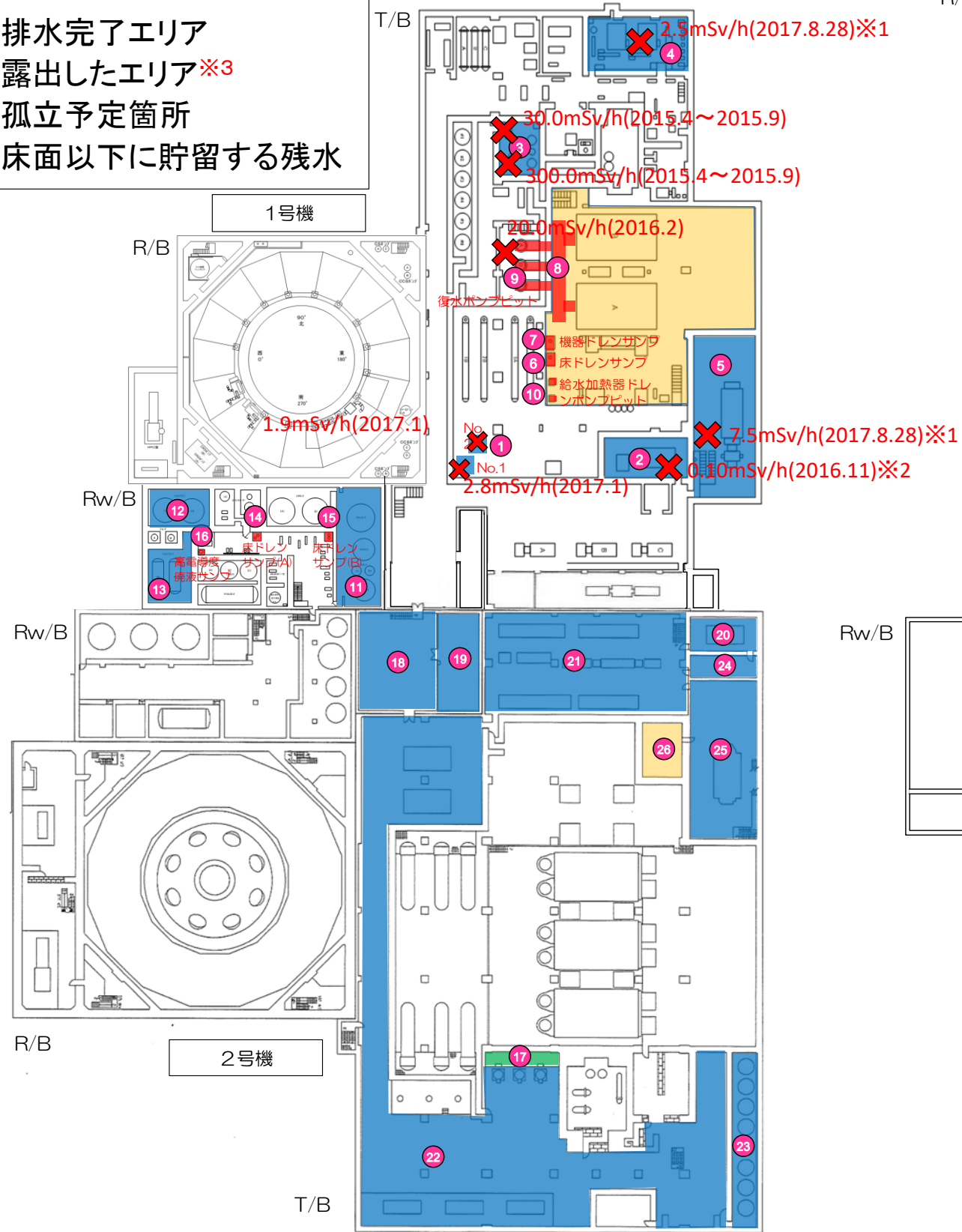
水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所にて測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に滞留する滞留水のままと判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に滞留する残水



地下水バイパス設備の計画停止について

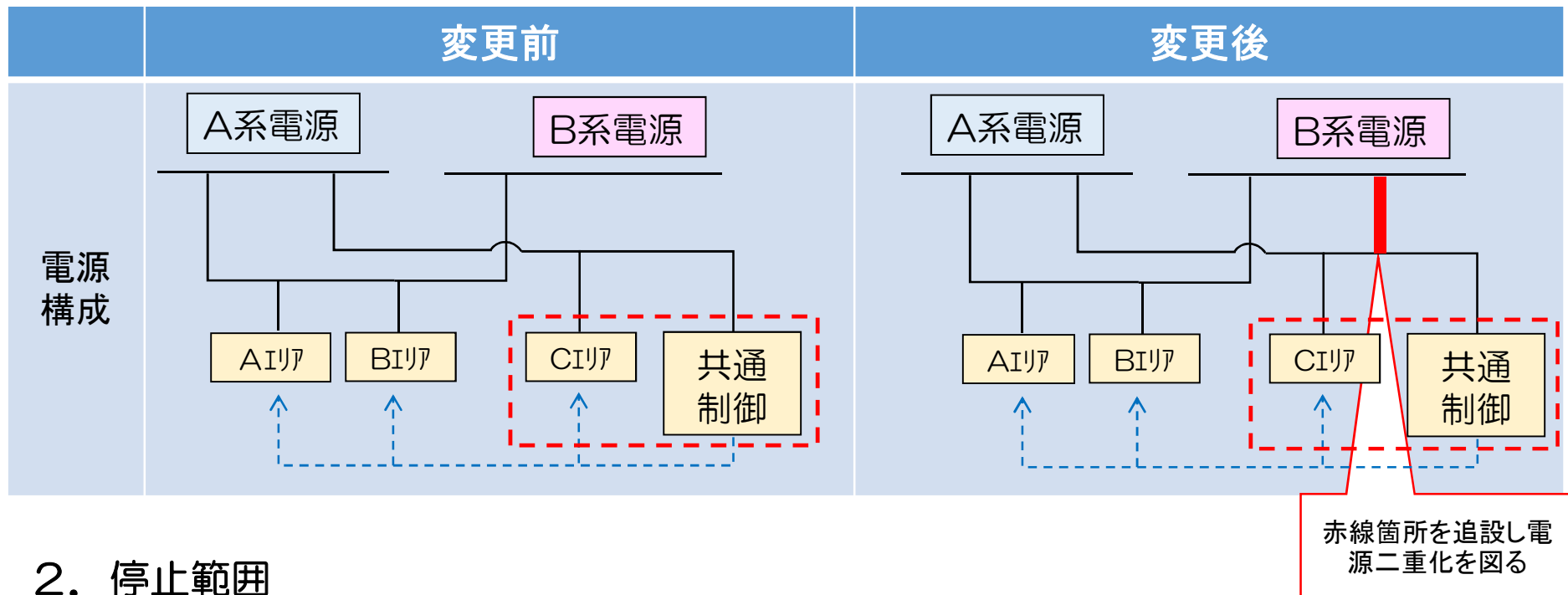
2021年2月5日

東京電力ホールディングス株式会社

地下水バイパス設備の計画停止について

1. 工事概要

地下水バイパス設備（C）系及び共通制御電源を以下の通り二重化し、当該設備の信頼性向上を図るもの。なお、ケーブル切替作業に伴い電源停止（停電）が必要なことから設備を停止して作業を実施。



2. 停止範囲

地下水バイパス設備（A）～（C）系設備全停止

※全系統設備の共通制御電源が停止することにより、A系～C系設備の全てが停止する。

地下水バイパス設備の計画停止について

3. スケジュール

2021年 2月 8日 (月) 15:00 ~ 2月 10日 (水) 16:00 (予定)

2/8(月)	2/9(火)	2/10(水)	2/11(木)
設備停止 (15:00)		設備復旧 (16:00)	予備日

4. 停止中の対応

作業に伴う設備停止による1～4号機建屋側への地下水流入量については、作業を比較的降雨量が少ない時期に実施すること、また陸側凍土遮水壁及びサブドレンの稼働継続により大きな変動はないものと考えておりますが、停止中は陸側凍土遮水壁やサブドレン等の関連パラメータを監視し異常ないことを確認します。万が一異常が確認された場合は、早期に設備復旧出来るように致します。

